

なかつえ



1月10日・新春 走ろう歩こう会より

なかつえの人口と世帯 (1月末現在)

人口	1,407人 (+4)
男	682人 (+3)
女	725人 (+1)
世帯数	489戸 (+2)

発行/中津江村
編集/総務課企画情報係

もくじ

成人式	2
消防団出初式	3
新春走ろう歩こう会	4
村の話題	5・6
ジョナサンの中津江物語	7
おしらせ	8・9
村の話題 II	10

成人おめでとうございます。

祝 成人式



中津江村長 中津江村長 中津江村長
中津江村長 中津江村長 中津江村長
中津江村長 中津江村長 中津江村長

一月二日、役場大会議室で中津江村の成人式（対象者は昭和五十四年四月二日～昭和五十五年四月一日に生まれた人）が行われました。式には新成人六名が出席し、多数の来賓の方々や新成人の両親が見守る中、村長から成人証書が手渡されました。また、村長、井上県会議員をはじめ多くの方々からお祝いの言葉が贈られました。

式の後行われた祝賀会では、新成人が一人ずつ自分の抱負を語った後、久しぶりにあつた同級生やお祝いにかけてきた小学校、中学校時代の恩師の方々と、楽しそうに当時の思い出や近況を語り合っていました。

平成十二年 成人者

石川 天洋（木 弓）

川津 理恵（野 田）

井上真紀子（八 所）

合谷 公児（栃原二）
〔写真・前列左から一人目〕

松原由香利（吉 原）
〔写真・前列右から一人目〕

諫山 亜希（栃原三班）
〔写真・前列右から一人目〕

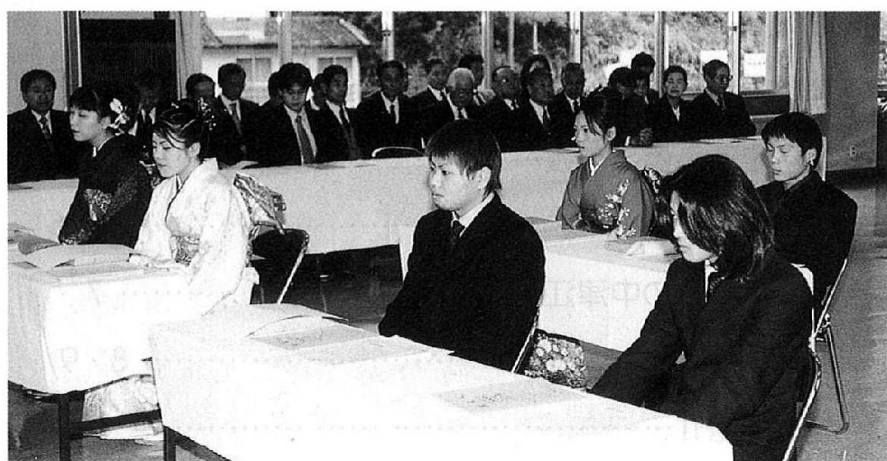
諫山 理恵（鯛生八班）
〔写真・前列右から一人目〕

水野 讓（二 又）

川津 拓也（荒 瀬）
〔写真・前列左から三人目〕

久野 義博（中 村）
〔写真・前列左から一人目〕

※敬称略（ ）内は出身集落



中津江村消防団出初式

百十二名の団員が日頃の訓練成果を披露

一月八日、津江中学校グラウンドにおいて平成十二年中津江村消防団出初式が行われました。前日の予習、出初式当日と真冬にしては暖かく、天候に恵まれての訓練成果を披露することができました。

各分団とも十二月下旬、夜間に行われた訓練、長時間に及んだ前日の予習により、人員服装点検、訓練点検、操法・放水点検の全てが正確な動きを見せ、団員一人一人も規律正しく、緊張



感に満ちた態度で式に臨んでいました。講評では村長をはじめ、来賓の方々からも賞賛の言葉をいただきました。また、式の最後に行われた表彰では、永年勤続表彰に続き一年間の無火災表彰も行われました。

平成十二年表彰者

消防庁長官銀杯伝達

(永年勤続退団者)

高野征五郎

(元第二分団長・勤続年数三二年)

三宅 清

(元第三分団長・勤続年数二七年)

石貫 一郎

(元第四分団班長・勤続年数三二年)

永年勤続 三十年

井上 民雄 (本部分団)

長谷部 勉 (本部分団)

上田 悦男 (第四分団)

永年勤続 二十五年

合谷 弘光 (第二分団)

杉本 高敏 (第三分団)

長谷部保佳 (第三分団)

永年勤続 二十年

矢野今朝明 (第一分団)

武原 外弦 (第一分団)

石川 勲 (第三分団)

高野 新一 (第三分団)

平野 嘉成 (第四分団)

永年勤続 十五年

森下 豊一 (第一分団)

鷹野 末典 (第二分団)

児塔 基司 (第三分団)

永年勤続 十年

松尾 裕次 (第二分団)

長谷部福美 (第二分団)

永年勤続 五年

安岡 佳克 (本部分団)

原部 雅彦 (本部分団)

池辺 洋行 (本部分団)

長谷部憲二 (第二分団)

山田 寿幸 (第二分団)

宮部 丈二 (第二分団)

川津 洋二 (第二分団)

石鞍 光 (第二分団)

高口 勝 (第三分団)

伊藤 平治 (第三分団)

大沢 幸生 (第四分団)

西 英治 (第四分団)

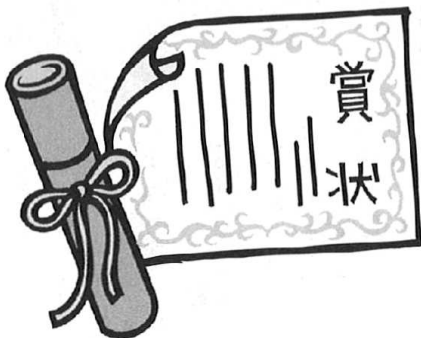
梶原 聖一 (第二分団)

高木 博敏 (第三分団)

猪野 元憲 (第三分団)

山口 新一 (第四分団)

川上 敏弘 (第四分団)



※敬称略

**第22回
新春走ろう
歩こう会
幼児から
高齢者まで
70名が参加**



表彰式の後、餅つきも行いました

今年最初のハッピーマンデーとなった一月十日・成人の日、二十二回目の『新春走ろう歩こう会』が開催されました。タイム宣言レース（自分の予想した時間と実際に走った時間の少なさを競うもの、コースは小学校・辛味入口間の折り返し）のため、参加者はリラックスしてレースを楽しんでいました。

一歳の男の子から七十六歳の女性まで幅広い年齢の方が参加し、家族での参加も九家族ありました。

なかでも中高年の女性の参加者が多く、最近のウォーキングブームを象徴しているようでした。



入賞者

ミニマラソンタイム宣言レース

小学生以下の部

- 一位 中井 祐輝 君
- 二位 梶原 有紀 さん
- 三位 川村 海青 君

中学生以上の部

- 一位 川津 明美 さん
- 二位 清水 亀男 さん
- 三位 平 政子 さん

ベストタイム賞

小学生以下の部

- 石川 亮 君

記録 23分13秒

中学生以上の部

- 遠坂 洋行 さん

記録 20分25秒

ヤング賞（最年長）

- 麻生イサエ さん

最年少賞

- 川村 海青 君

ジャストタイム賞

- 川津 佑哉 君

ファミリー賞

- 九家族



タイム宣言レースで1位になった中井君と川津さん

「二〇〇海里の森づくり」

大会実行委員会を設立

『広報なかつえ』一月号の村長新年挨拶の際にご紹介した三月十九日開催の「二〇〇海里の森づくり」大会に備えて、実行委員会が設立されました。

一月十八日、中津江村役場で行われた設立会議には、中津江村から村長、助役をはじめ関係各課の職員、福岡市から福岡市役所水道局内に設置されている水源かん養事業基金担当者の方々三名が出席され、大会の実施内容をはじめ実行委員会の設立に関する重要案件を協議しました。

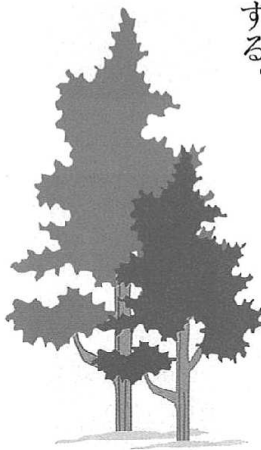
【目的】

山から平地へ、平地から海へ、われわれ人類が誕生する以前から水は地球を循環してきました。この自然の恵みにより地球上のさまざまな生物や、自然浄化に

欠かせない微生物を作り育ててきました。

しかしながら、人の手により、自然が壊され従来からのサイクルの歯車が噛み合わなくなってきたいます。

このため、私たちにできることは、従来からのサイクルを少しでも取り戻し、筑後川上流の水源地域として川下の生活に潤いをもたらす、有明海沿岸の魚介類や海苔の育つ水質環境づくりに貢献し、ひいては二〇〇海里の豊かな水資源を未来の子どもたちに引き継ぐために、筑後川の恩恵を受けている人々に水源地域の自然の大切さを広く周知し、意識の高揚をはかる「二〇〇海里の森づくり」大会を開催する。



家を守る女性の苦勞に感謝

堤自治会の男性が女性を持て成し

一月十五日、堤公民館で堤自治会内(平簾堤)の作草、吉原)の女性を招いた新年会が行われました。これは日頃、家事や育児に苦勞されている女性の方の勞に報いようと自治会の男性達が思い立ったもので、料理、後かたづけはもちろんです。給仕配膳のすべてが男性の手で行われました。

また、当自治会では今回に限らず、様々な場合があるとき、車での実施することにより、自治会内のほとんどの方が集まるようでした。



女性のつどいのテーマソング『やさしさの集い』

が完成

このほど『女性のつどい』のテーマソング『やさしさの集い』が完成、一月二十四日夜、村民ホールに実行委員会のメンバーが集まり、アカペラグループ『歩』と歌の練習を行いました。

『やさしさの集い』は『女性のつどい』十回目の開催を記念するものとして作られ、作詞は矢野しのぶさん(引野)、作曲は山本憲一さん(元津江中学校勤務、現在は大山中学校)によるものです。

この日も山本さん指導のもと、三月五日『女性のつどい』(村民ホール)での発表に向け、熱心な練習が行われていました。

五月の総会に向けて 婦人会が五十周年誌を作成

今年、五十周年を迎える中津江村婦人会（会長 合谷良子氏）が五月の総会に向けて、五十周年誌を作成中です。

昨年十月から始められた作成作業は役員の方を中心に、歴代の婦人会会長、OBの方の原稿収集

これまでの婦人会活動の資料や写真の収集、整理が行われており、夜作業会場となっている中央公民館に集まる回数も増えています。

また、各支部においても現会員の集合写真の撮影や、協議事項等が話し合われています。



1月22日、野田公民館に集まった野田支部の方々

チャイルドシートの レンタルを行います

道路交通法が改正され、四月一日から自動車に乳幼児が同乗する場合、チャイルドシートへ着席させることが義務づけられます。

現在、村内の対象者の大部分の方がチャイルドシートを所有されていることと思いますが、再度装着方法を確認し、乳幼児への装着を習慣化させましょう。

また、役場では少子化対策事業の一環としてチャイルドシートの貸付を開始いたしますのでご利用いただけますようお願いいたします。

「チャイルドシートの貸付について」

貸出開始時期 平成十二年二月十五日
対象資格 中津江村内に住所を有し、

普通自動車免許を有するもので、六歳未満の乳幼児を乗車させて自動車を運転するもの

貸付期間 乳児用 六ヶ月
幼児用 十二ヶ月

その他、詳細につきましては役場総務課交通安全係までお問い合わせください。



十一村のスタンプラリー 今年も実施します

大分県内、十一村で開催した「豊の国村サミット」を引き継ぐ形で発足した「豊後村」の実施事業として昨年、「豊の国村サミット」で十一村が共同実施した「豊の国村めぐりスタンプラリー」を今年も継続実施することになりました。

これは昨年の「豊の国村めぐりスタンプラリー」において、十一の村を全部回った参加者が六一〇名と予想をしていた人数を大きく上回り、十一村の良さを知ってもらおうイベントとして成功したためです。

なお、今年からは名称を「豊の国豊後村めぐりスタンプラリー」と改め、四月一日から十一月末まで実施します。

十一村を全部回った方には昨年同様、豪華な賞品も用意されていますので皆様是非ご参加ください。

なお、詳細は後日配布する十一村のマップに記載してあります。

スタンプラリーに関する問い合わせ先
中津江村役場 総務課 企画情報係



Jonno's 中津江物語

cold wind washes over my face rolling waves

寒風が 顔に打ち寄せ うねる波



第7部

画面の前

ニュージーランドでも、テレビやビデオは余暇を過ごすとき欠かせないものとなっています。

私も、高校に入った頃から少しずつテレビを見る時間が長くなりました。理由はテレビの番組が段々面白くなってきたからだと思います。10年前、ニュージーランドには国営の放送局が一つしかなく、二つのチャンネルしか選べませんでした。しかし、現在では4チャンネルに加え、衛星放送、ケーブルテレビなども現れて、面白い番組が多くなってきました。

今の子どもたちはテレビ、パソコン、プレイステーション（テレビゲーム）など、多くの選択肢を持っています。それに対して私は彼らをうらやましく思う一方、自分が育った時代にはテレビを見るより楽しかったことが沢山あったなあと思います。

また、自分達で遊ぶには想像力が必要であり、この想像力を使って遊んだことが自分の成長に大変よい影響を与えたのではないかと思います。

そのことを思うと長い時間テレビを見ている子どもたちのことが心配になります。

日本の若者はどうでしょうか？

私も日本に来て色々な番組を見ている。日本のテレビを見ていてニュージーランドのテレビとは違うなあと思うことがあります。それは「タレント」の存在とバラエティー番組です。ニュージーランドでは「タレント」と呼ばれる職業はありません。

もちろん歌手、俳優、コメディアンなどがいますが、彼らは自分の職業（才能）に

あつた番組に出ています。

日本には多くのバラエティー番組があります。バラエティー番組には「タレント」が必ず出ています。又、バラエティー番組と同じくらいタレントが出る番組としてクイズ番組があります。ニュージーランドにもクイズ番組はありますが、日本のように回答者として有名な人が出るわけではなく、申し込んで選ばれた普通の人が出ています。（私も17歳の時、あるクイズ番組に出たことがあります。恥ずかしいので、その話はここでやめます！）

日本のテレビは面白く、自分にとっては勉強（日本語、日本、世界について）にもなります。

特に説明などが字幕で画面に映し出されるのは、外国人の私にとって番組の内容を一層わかりやすいものにしています。

それでは、ニュージーランド人はどんな番組を見ているのでしょうか。昔から、ニュージーランドではスポーツ番組の人气が高く、スポーツをやっていない人でもテレビでスポーツの試合を楽しみます。

なかでもニュージーランド代表のラグビーチーム（オールブラックス）の試合は特別で、外国に遠征したときなど、深夜に起きて応援する人も珍しくありません。

スポーツ番組以外ではドラマやsitcom（コミカルなドラマ）も非常に人気がありますが、それらのほとんどはアメリカやイギリスで制作されたものです。

最後に一つ気になることがあります。

それは最近、ニュージーランドでも日本でも暴力シーンをよく目にする事です。

いい加減にしないと現実の社会でも暴力があふれるかもしれません。

テレビは自由すぎるのでしょうか……

平成11年分 納税相談会を開催

平成11年分の納税相談会を下記日程で開催しますので、最寄りの相談会場へおいでください。

相談日	受付期間	場 所	相談対象集落名
2月15日	9:00~ 12:00	野田生活改善センター	築瀬、下笠、小野田、野田、宮田、中村、田の口
	13:30~ 16:00	田の原公民館	田の原井千原、黒谷、合鶴、平野、鶴田
2月16日	9:00~ 12:00	市ノ瀬集落センター	市ノ瀬1・2班、柿の谷、宮原、地藏元
	13:30~ 16:00	鯛生生活改善センター	小平田、才野、中川内、鯛生1、3~5、7、8班、下切
2月17日	9:00~12:00	宮園集落センター	梅野、宮園、高迫、石場
	13:30~ 16:00	山本生活改善センター	木弓、間地、山本1・2、藤蔵、原、中西、丸蔵、作草、堤、簾、平、吉原
2月18日	9:00~ 12:00	栃原公民館	荒瀬、辛味、打越、栃原1~3班、二又、小園
	13:30~ 16:00	川辺公民館	川边上・下、向川辺、八所、原部、引野
2月23日 ・ 2月25日	9:00~ 16:00	中津江村役場大会議室	確定申告

2月16日~3月15日まで所得税・消費税・贈与税の納税相談を日田税務署においても行っています。

なお、所得税の確定申告期間は2月16日~3月15日、消費税の申告納税期限は3月31日となっていますので、必要書類、印鑑をご持参の上、期間内にお済ませください。

求人案内

山村工芸館 木木では木材加工による器等の制作を行う木工職人の募集を行っています。

工芸の素材として、杉の価値を見だし、これまでとは違う形での林業に携わってみませんか。

〈条件〉

年齢、性別、経験不問

〈連絡先〉

山村工芸館 木木

担当 溝口

☎56-5445

求人募集の掲載について

『広報なかつえ』ではU・Iターン者の受入に欠くことのできない雇用機会の情報を提供できるよう求人募集について村報への掲載を行います。掲載希望のある方はご連絡ください。

連絡先

中津江村役場 総務課

広報担当 牛島

☎54-3111



御寄付お礼

■社会福祉協議会へ

〈香典返し〉

武原 勇一郎 様

一〇〇、〇〇〇円

〈一般寄付〉

清水 義一 様

車イス 一台

■安寿苑へ

〈一般寄付〉

武原 勇一郎 様

一〇、〇〇〇円

■野田自治会へ

〈香典返し〉

武原 勇一郎 様

三〇、〇〇〇円

■田の口公民館へ

〈香典返し〉

武原 勇一郎 様

五〇、〇〇〇円

■野田老人クラブへ

〈香典返し〉

武原 勇一郎 様

二〇、〇〇〇円

■田の原公民館へ

〈見舞返し〉

渡邊 砂夫 様

掃除機 一台

お知らせ 募集

目田郡生涯学習 フェスティバル

『創造しよう！新たな自分、豊かな社会』をテーマに第19回目田郡生涯学習フェスティバルが開催されます。

主催 目田郡教育振興協議会
 開催日 平成12年2月20日
 場所 大山町文化センター
 対象 目田郡内全住民
 内容

- ヤングミュージックフェスティバル
 - 竹工芸体験コーナー
 - 絵手紙体験コーナー
 - リサイクルフリーマーケット
 - 異国文化体験コーナー
 - 魚おろし方実習&魚パーベキュー 他
- 「ヤングミュージックフェスティバル」では中津江村の相良洋平さん、平野朋之さんが出演します。

また「魚おろし方実習&魚パーベキュー」では鯨料理も食べられます。

※リサイクルフリーマーケットを除き、参加料は無料です。

問い合わせ先

目田郡教育振興協議会事務局
 ☎24-3490

目田郡森林組合 交流スポーツ(ゴルフ)大会

日時 平成12年2月28日
 場所 天瀬カントリークラブ
 申込期日 平成12年2月15日
 申込み及び問い合わせ先
 目田郡森林組合 本所 庶務
 ☎26-7878
 奮ってご参加下さい。

ホールライブ第27弾 細坪基佳コンサート

1970年代フォークソンググループ「ふきのとう」で活躍した細坪基佳さんのコンサートが開催されます。

開催日 平成12年3月2日(木)
 場所 中津江村民ホール
 時間 開場 午後6時30分
 開演 午後7時
 入場料(高校生以上)
 前売券 2000円
 当日 2500円
 チケット販売及び問い合わせ先
 中津江村教育委員会
 ☎54-3722

建物の防災対策は 万全ですか？

平成12年3月1日～7日は建築防災週間です。

この機会に、建物を点検してみましょう。

- 建物の外壁タイル、広告物、看板などが落下する恐れはありませんか？
- ブロック塀が転倒する恐れはありませんか？
- 建物に近接する崖や擁壁が崩壊する恐れはありませんか？

期間中、大分県では物販店などの特殊建築物の立ち入り検査を行います。また、土木事務所で耐震改修相談を行います。

詳細は目田土木事務所建築課へお問い合わせください。

☎23-2141

鯛生スポーツセンター 一般・パート職員募集

鯛生スポーツセンターでは平成12年4月1日から勤務していただく一般・パート職員を募集します。

① 調理、施設管理等補助員
 募集人員 16名
 給与 当センターパート規定 (650円)

勤務時間
 2交代制、午前6時～午後2時、午後1時～午後9時(勤務時間は相談に応じます。)

応募資格
 村内在住者、学歴・年齢は不問

② 食品加工・一般業務職員
 募集人員 1名
 給与 当センター給与規定
 勤務時間

午前8時30分～午後5時
 (宿直有り)

応募資格
 村内在住で25歳以下の男女、食肉加工経験者優遇

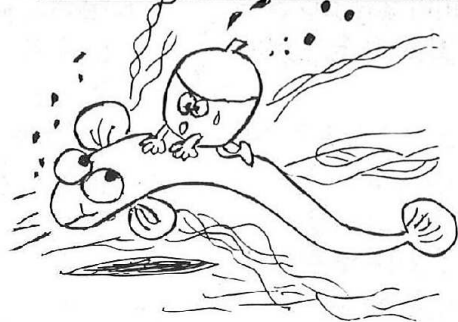
①②とも
 応募締切
 平成12年2月29日まで
 申込み及び問い合わせ先
 鯛生スポーツセンター
 ☎56-5016



池の山 永瀬 トキ代 様
 田の武 原 八重子 様
 お悔やみ申しあげます。

慶弔

童話『ドンダングリくんの旅』を執筆



川辺の鷹野由利子さんが童話を執筆、このたび自費で『ドンダングリくんの旅』と題した本を出版しました。

鷹野さんは四、五年前から構想をあたため、仕事を終えた夜、執筆を行い、五ヶ月を要して完成にこぎつけました。

出来上がった童話は自然破壊、環境汚染の現状、物を作るために何か犠牲になっていることなどを大好きなドンダングリの実の視線に置き換えることで優しく、わかりやすい作品に仕上がっています。

また、平野蘭子さん（旧姓・梶原、間地出身）のさし絵も物

語りの内容を忠実に描き、読む人の感動を二層高めています。

二百部作成された本は村内の小・中学校や知人、恩師の方に配られました。反響が大きく、マスコミの取材、友人からの電話など、鷹野さんは戸惑いも感じているようでした。

しかし、それ以上に喜びは大きく、中でも童話を読んでもくれた中津江小学校の生徒達を書いた感想文を見た時は子どもたちの純粋な気持ちに触れることができ大変感動したそうです。

独自の創意工夫で見事な竹トンボを完成

微妙なバランスを保ち、見事な姿勢を見せる竹トンボを目にした方が多数いらっしゃることに思い入ります。

この竹トンボは下切に住む片桐敏憲さんが作成したもので、役場、安寿苑、郵便局をはじめ村内の多くの事業所に寄贈されています。

片桐さんがこの竹トンボを作成するようになったのは、小国町で見た竹製のトンボの置物を見てからでした。

しかし、片桐さんが最初に見たものは木の枝に接着材で固定されたもので、それ自

体が静止できるものではありませんでした。

片桐さんは本物のトンボが見せるような静止の状態を再現できないかと、本物のトンボを観察、羽や胴体の大きさ・形、頭の部分の形状を工夫するなど試行錯誤を繰り返した末、昨年7月、見事に自分で静止する片桐さん独自の竹トンボを完成しました。

片桐さんは現在、暇を見つけては竹トンボの作成を行っています。竹を材料とするため素材にあつた慎重な加工が必要なこと、どんなに頑張っても一日十個を作成するのが限界ではないかと話していました。

現在、六十八歳になる片桐さんですが、鋭い洞察力と研究熱心な姿勢には感心させられるばかりでした。

